一年　ステップ1　解答

14 詩2 簡単な技法

組	番号	氏名

1 次の詩を読んで問いに答えなさい。

落葉松（からまつ）　北原白秋

一
からまつの林を過ぎて、
からまつをしみじみと見き。
からまつはさびしかりけり。
たびゆくはさびしかりけり。①

二
からまつの林を出でて、
からまつの林に入りぬ。
からまつの林に入りて、
また細く道はつづけり。
（以下、省略）

道程（どうてい）　高村光太郎

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の気魄（きはく）を僕に充（み）たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため②

（1）①と②の部分に用いられている表現の技法を、次の中から選んで、それぞれ答えなさい。

比喩（ゆ）　擬人法　対句　倒置法　反復　体言止め

①…対句

②…反復

調「表現技法」を教科書で確認しよう。

2 次の――部の表現に用いられている表現の技法を答えなさい。

A　少女の瞳の色は、澄んだ海のようなブルーだった。

注「比喩」とはたとえのことである。

比喩（直喩）

B　私は信じている。必ずそれは実現すると。

倒置法